



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日 東

上場会社名 神東塗料株式会社 上場取引所
 コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 隆平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理担当) (氏名) 高田 文生 (TEL) 06-6429-8474
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,546	△0.3	39	△79.8	96	△60.0	86	△19.2
26年3月期第1四半期	5,561	△0.7	194	△33.6	240	△26.6	106	△42.7
(注) 包括利益 27年3月期第1四半期	116百万円(△47.2%)				26年3月期第1四半期 220百万円(△4.5%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.79	—
26年3月期第1四半期	3.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	36,041	14,668	39.3	457.38
26年3月期	36,334	14,736	39.2	459.47
(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期	14,171百万円		26年3月期 14,236百万円	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	3.6	410	10.3	510	6.7	280	23.6	9.04
通期	24,500	△1.0	930	23.8	1,100	11.6	600	72.0	19.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 — 社(社名) 除外 1社(社名) PT. Shinto
Paint Indonesia

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	31,000,000株	26年3月期	31,000,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	15,242株	26年3月期	15,242株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	30,984,758株	26年3月期1Q	30,985,367株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが手続き中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、消費税増税の影響による反動で景況の小幅な悪化現象も見られ、また欧州景気の動向や新興国経済の減速等の警戒感等の影響を受け、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましてはこうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業のさらなる展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,546百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。損益面では、営業利益は39百万円（前年同四半期比79.8%減）、経常利益は96百万円（前年同四半期比60.0%減）、四半期純利益は86百万円（前年同四半期比19.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料は、国内サッシ市場は消費税増税の駆け込み需要の反動から生産調整が堅調となったものの、関東甲信越地方の雪害被害による特需や海外市場における新規ユーザー獲得により、売上は大幅に増加いたしました。

工業用電着塗料は自動車、鋼製家具及び住宅部材向けなどは消費税増税の駆け込み需要の反動から主力ユーザーの減産傾向が見られるものの、主力ユーザーである大手ハウスメーカーの増産体制が続いていることや、大手家電メーカーの海外生産が好調を維持し、売上はほぼ前年並みとなりました。

粉体塗料は4月に消費税増税前の駆け込み需要の反動で大きく落ち込みましたが、その後は鋼製家具、電機製品及び建材ユーザー向けなどは概ね順調に推移し、新規ユーザー獲得出荷による出荷量の増加もあり、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、4月～5月は消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響を受け、大きく落ち込みました。主力分野の形鋼・建材・工作機械向けなどは概ね順調に推移しましたが建設機械向けが低迷しており、新規ユーザーの獲得による効果はあったものの、売上は減少いたしました。

建築塗料は、消費税増税の影響で春の改修物件のスタートが例年と比べて早かったことに加え、物件数が少なく、5月に入ってから出荷のペースがダウンし、梅雨などの季節的要因も重なり、出荷量の低迷が続き、売上は減少いたしました。

防食塗料は公共物件は獲得できているものの、着工の遅れから出荷までには期間があり、また、昨年度獲得した物件にも遅れが出ており、売上は大幅に減少いたしました。

道路施設用塗料は昨年の好調から一転、今年度に入って地域により若干の差異はあるものの、当第1四半期を通して官公庁からの発注が遅れ、第2四半期へずれ込んだため、売上は大幅な減少となりました。段差修正材やカラー舗装は好調に推移しましたが、主力商品のすべり止め材の落ち込みが大きく、また区画線のうち溶融材も大幅に落ち込んだことが大きな要因となりました。

軌道材料製品については、道床安定剤市場の需要減及びスラブ軌道のメンテ市場の需要減の影響並びに北陸新幹線軌道工事完了により売上は大幅に減少いたしました。

自動車用塗料分野では主力ユーザー向けの出荷が昨年は好調でしたが、今年は前年並みに戻ったため、売上は減少いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は5,069百万円（前年同四半期比1.5%減）、経常利益は86百万円（前年同四半期比65.1%減）となりました。

受託生産している化成品事業の売上高は476百万円（前年同四半期比15.5%増）、経常利益は9百万円（前年同四半期は8百万円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べたな卸資産が82百万円、長期貸付金が299百万円増加し、現金及び預金が163百万円、受取手形及び売掛金が460百万円減少したこと等により36,041百万円（前連結会計年度末比292百万円減）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が133百万円増加し、支払手形及び買掛金が265百万円、賞与引当金が124百万円減少したこと等により21,373百万円（前連結会計年度末比224百万円減）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ退職給付に係る調整累計額が16百万円、その他有価証券評価差額金が8百万円増加し、為替換算調整勘定が21百万円、利益剰余金が68百万円減少したこと等により14,668百万円（前連結会計年度末比67百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社でありました、PT. Shinto Paint Indonesiaは、第三者割当増資により持分比率が低下したため、連結子会社から持分法適用関連会社に異動しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債及び利益剰余金、ならびに、当第1四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,057	1,893
受取手形及び売掛金	8,197	7,736
商品及び製品	1,717	1,847
原材料及び貯蔵品	650	602
その他	355	382
貸倒引当金	△26	△24
流動資産合計	12,950	12,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,464	2,459
機械装置及び運搬具(純額)	904	897
土地	15,961	15,961
その他(純額)	363	334
有形固定資産合計	19,694	19,652
無形固定資産	337	329
投資その他の資産		
投資有価証券	2,243	2,242
その他	1,162	1,439
貸倒引当金	△54	△60
投資その他の資産合計	3,351	3,621
固定資産合計	23,383	23,603
資産合計	36,334	36,041
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,219	6,953
短期借入金	4,170	4,304
未払法人税等	120	44
賞与引当金	231	107
役員賞与引当金	15	3
その他	841	961
流動負債合計	12,598	12,375
固定負債		
長期借入金	2,507	2,440
再評価に係る繰延税金負債	4,557	4,557
役員退職慰労引当金	9	6
退職給付に係る負債	1,290	1,322
その他	635	671
固定負債合計	8,998	8,997
負債合計	21,597	21,373

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	4,018	3,950
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,856	6,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	72
土地再評価差額金	7,282	7,282
為替換算調整勘定	62	40
退職給付に係る調整累計額	△29	△12
その他の包括利益累計額合計	7,380	7,383
少数株主持分	500	497
純資産合計	14,736	14,668
負債純資産合計	36,334	36,041

(2) 四半期連結損益及び四半期包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,561	5,546
売上原価	4,387	4,493
売上総利益	1,174	1,052
販売費及び一般管理費		
発送費	149	145
広告宣伝費及び販売促進費	30	21
従業員給料及び手当	257	262
賞与引当金繰入額	45	48
退職給付費用	30	33
減価償却費	37	49
試験研究費	48	54
その他	381	398
販売費及び一般管理費合計	980	1,013
営業利益	194	39
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	9
受取賃貸料	5	5
持分法による投資利益	44	39
その他	7	11
営業外収益合計	66	65
営業外費用		
支払利息	6	5
投資有価証券評価損	0	—
支払補償費	10	0
その他	3	3
営業外費用合計	20	8
経常利益	240	96
特別利益		
持分変動利益	—	81
特別利益合計	—	81
特別損失		
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	238	176
法人税等	112	70
少数株主損益調整前四半期純利益	126	105
少数株主利益	19	18
四半期純利益	106	86

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主利益	19	18
少数株主損益調整前四半期純利益	126	105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	17
為替換算調整勘定	16	△1
退職給付に係る調整額	—	16
持分法適用会社に対する持分相当額	53	△22
その他の包括利益合計	94	11
四半期包括利益	220	116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196	89
少数株主に係る四半期包括利益	23	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成事業	計	
売上高	5,149	412	5,561	5,561
セグメント利益又は損失(△)	248	△8	240	240

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	240
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	240

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成事業	計	
売上高	5,069	476	5,546	5,546
セグメント利益	86	9	96	96

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	96
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	96

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。